

明和学園短期大学 生活学科栄養専攻

私は高校生活の中で自分の進路先を中々決められずにいました。そんな中、本当に自分が好きなことは何だろうと考えました。改めて考えてみると、私は勢多農林高校の食品文化科に入学してから食品製造や食品科学といった食について学ぶ授業が毎回楽しみでした。また、普段何気なく取っていた食べ物に含まれる栄養素や人体への影響などについて授業を受ける度に、さらに食についての知識を身に付けたいと思い、短期大学への進学を決意しました。進路先は決まっていなくても、決める際には少しでも自分の選択できる範囲が広がるように一年生の頃から高い評定を目指し努力してきました。

また、入試には面接、筆記、小論文に加え食品に関する口頭試問があったため、過去に同じ入試を受けた先輩方にアドバイスを受けて、今まで使ってきた教科書を使い勉強し直しました。途中対策しなければならぬところが多くて大変な時期もありましたが、先生方や家族、友人の支えのお陰で希望の進路先に合格を頂くことができました。本当に感謝しています。進学後も、食に関する知識をさらに深めより一層努力していきます。